



# Ableton友の会

川三

## アップデートの価値はあるか?

NEW  
UPDATE



新機能  
たっぷり

大変更の  
UI画面

操作  
カオス中

MIDIノート  
分割

登場  
ドヤア



# 概要

- Ableton12
- アップデートの価値はあるか
  - 価値とは？
- 新機能概要
  - 新機能説明
- お知らせ、ご相談

# アップデートの価値はあるか？

- 価値とは
  - その人がやりたいことが出来るようになるか。快適な時間を生み出すか。
  - パフォーマンス関係のアップデートはそれほどない
  - 制作よりの機能強化
  - すでにワークフローが出来ている人に習得コストを掛けてアップデートする価値があるか
  - Suiteにする意味があるか？
  - 新機能のメリット・デメリット
  - 新デバイス Roar, Meld , Granulator3は必要か
  - PUSHはそれほど

# 新機能

- アクセシビリティ
- ブラウザのフィルタリングとタグ
- CCコントロール
- キーボード操作のワークフロー
- Meld
- MIDIノート確率グループ
- MIDIツール
- Max For LiveのMIDIツール
- アレンジメントにミキサーを表示

## 新機能 2

- ピッチと時間のユーティリティ
- Roar
- スケールの認識
- 類似するサウンドを検索
- 類似するサウンドに差し替える
- クリップビューをデバイスビューと並べて表示する
- チューニングシステム
- UI表示の調整
- その他の改良点

## 新機能 3

- 新PACK
- Granulator3
- モジュレーションの挙動が改善
- MIDIノートの分割・結合
- PUSH2 アップデート

# アクセシビリティ

- 点字ディスプレイなど対応
- Cakewalkの時代からあった。

# ブラウザのフィルタリングとタグ

- タグで絞り込む形式になった
- メリット
  - Ableton内蔵のものやサンプルは探しやすくなった
- デメリット
  - 今までのフォルダ形式とはことなる
  - Cmd+Fのフローは出来なくなった(プラグイン)
- 対応策
  - 検索式を保存
  - Collectionを一軍
  - cmdで複数選択
- 新規ショートカット
  - cmd+{} 検索に戻るが出来た

# CCコントロール

- 今まではMIDI CCのコントロールはクリップ単位しかできなかった。
- M4Lなどで補っていた
- 今回からMIDIエフェクトに導入された
- メリット
  - 視認性の向上
  - PUSHでコントロールできるようになった。
  - デメリット
  - 特にはないが、アレンジメントに標準装備されている方がわかりやすいか

# キーボード操作のワークフロー

- 激変した
- セッションビューの時代の終わりかもしれない
- 画面操作メニューからコントロール
  - 「TABキーでフォーカスを移動」
  - 「キーボード操作のフォーカスを折り返す」
    - 同一ツール内で移動する場合はこちらをオン
- TAB 次の操作子に移動
- Shift+TAB 前の操作子に移動
- 上下 同じ行内の操作子に移動(縦の移動)
- Shift+上下 微調整
- Esc 階層を上に
- ミキサーボリュームなど Option+TABで他のトラックのパラメーターに移動可能

## キーボード操作のワークフロー 2

- セッションビュー
  - pageup 8つずつスロット移動
  - pagedown
- メリット
  - 制作にはメリット
  - ツールが増えた分マウスで操作すると遅くなる
- デメリット
  - 生成ツール、変形ツールを使わない人には不要
  - 習得コストは変わる
  - 他のアプリケーションでショートカットキーをアサインしていた場合は厳しい

# キーボード操作のワークフロー 3

- Delete
  - 初期値
  - 以前からあった。
- Cmd+shift+option+F
  - OSでレベルでは設定できた
- ラッチの導入
  - A オートメーション
  - B ドロー
  - S ソロ
  - Z ズーム
  - F1~F8 トラックアクティベータ
- メリット
  - 二回キーを押す必要がなくなったので素早い操作が可能になった
- デメリット
  - 特になし

# キーボード操作のワークフロー 4

- クリップにマーカーを打てるようになった
  - [CMD][F9] (Mac) - クリップ開始マーカーを MIDI ノートエディターの選択されたタイムエリアに設定
  - [CMD][F10] (Mac) - クリップループの開始マーカーを MIDI ノートエディターの選択されたタイムエリアに設定 [[CMD][F11] (Mac) - クリップループのエンドマーカーを MIDI ノートエディターの選択されたタイムエリアに設定 (Win) / [CMD][F12] (Mac) - クリップエンドマーカーを MIDI ノートエディターの選択されたタイムエリアに設定
- ノート編集
  - ノートのベロシティを調整する: [CMD]上下矢印キー (Mac)
  - 音符のベロシティの偏差を調整します: [CMD][Shift] 上下矢印キー (Mac)
  - ノートチャンスの調整 [CMD][ALT][Shift]上下矢印キー (Mac)

# MELD

- 新規導入シンセ
- Suiteのみ
- 効果音に強いのか
- マトリクスあり
  - Wavetable的
- メリット
  - 風など効果音的なもの作成には強いのか
- デメリット
  - 直感的なシンセではない
  - 習得コストはそれなりにかかるか

# MIDIノート確率グループ

- ノートにグループが適用
- すべて発音
- 1つだけ発音
  - グループの中から1つだけ発音
- メリット
  - ランダム性をよりコントロールできる
- デメリット
  - 使わない人は使わない

# MIDI変形ツール

- MIDIエフェクトがピアノで使えるようになったもの
  - Arpeggiate アルペジオ
  - Connect 空白を埋める
    - 使い方注意
  - Ornament 装飾
  - Quantize
    - クオンタイズメニューが統合
  - Strum 発音タイミング変形
  - Recombine いろんな条件で並び替え
  - Timewarp MIDIストレッチ
  - Velocity Shaper XO的な選択範囲のベロシティを変えられる。

# MIDI生成ツール

- MIDIエフェクトがピアノロールで使えるようになったもの
  - Rhythm ベロシティ付きノート作成
    - ハイハットなどには便利では？
    - ただ、Option+EやCmd+Eでもかなり代用できそう
  - Seed ランダムノート作成
    - テクスチャ作成には便利そう
  - Shape 形を持ったノート作成
    - スtringスなどに便利かも。
  - Stacks コード
    - コード4つとあるが、4和音ではない
    - トライアドのみ

# Max For LiveのMIDIツール

- 自作したものを使えるようになった
  - 自分のフローにあったものを作れば効率は上がる
- Suiteのみ

# MIDIツール

- メリット
  - アイデア出し
    - connect
    - 人間ならやらないパターン
  - Rhythmなど単純なベタ打ちの労力を減らしてくれる
- デメリット
  - 必要ない人には必要ない

# アレンジメントのミキサー

- メリット
  - 蛭族DAWの長年の望みがかなった
- デメリット
  - 特になし
  - これしかいない人はアップデート代金 20,000円程度の価値はあるか？

# ピッチの時間のユーティリティ

- Live11のノートが変更
  - Add interval
    - SDIはScale Degree
  - Humanize
  - ランダム化
- 注意点
  - DuplicateはClipに移動した。

# Roar

- マルチバンドサチュレーター
  - 変態的なモジュレーションが掛けられる
  - ミックスにも使える
  - 古い質感にもクリッパーとしても
- Suiteのみ
- メリット
  - 純正でこれだけ高機能で変態的なことが出来るものはない
- デメリット
  - SaturnやHarmonicsなどを持っている人には不要かも

# ソングスケール

- クリップに適用される
  - Arpeggiator
  - Chord
  - Pitch
  - Random
  - Scale
- Meldにはオシレーターなどに認識される
- メリット
  - 簡単にインキーで出来る
- デメリット
  - デメリットではないが、当然のことながら、転調があるようなものは作れない
  - J-Popなどでよく使われるセカンダリー・ドミナントなどを作る場合は知識がいる
    - コード生成してから変形したら
  - 自分で作りたい人には不要

# 類似サウンドを検索

- メリット
  - 早くなった
  - Drumrackでも使用可能
  - cmd+shift+F

# クリップビューとデバイスビューを並べて表示

- メリット
  - 音色確認など
- デメリット
  - 特になし

# チューニングシステム

- メリット
  - 平均律以外のもやりたい人
- デメリット
  - 特になし

# UI表示のスタイル設定

- スクロールバーが基本非表示
- 環境設定で調整
- Shift+マウスホイールで対応可能

# 新PACK

- Lost&Found
- Performance pack
  - アレンジメントのループなど

# Granulator

- 飛び道具

## モジュレーションの挙動が改善

- 設定してから変更出来るようになった

# MIDIノートの分割・結合

- 最大のアップデートかも
  - Eを押しながら 任意の位置で分割
  - Option+Eを押しながら近づける ↑ドラッグで等分割
  - Cmd+E グリッドで分割
- メリット
  - ドラムの打ち込みなどにも便利
  - 白玉を切り刻んでリズムを作るなど
- 結合
  - Cmd+J
  - Cmd+option+J 範囲内のノートを同じ長さにする

# PUSH2アップデート

- クリップを押すとセッションモードになる。
- Tunerが使用可能
- ブラウジングはPUSH3と同じものに

# お知らせ、ご相談

- あわててアップデートしなくてもOK
- マニュアル、新規機能はまだ日本語化されてないです。
- かなり変わっているところがあるので、情報が出るまで待ってもいいかも。
- 周辺機器が使えなくなることがあります。Faderport, PACERなどAbleton10から11でアサインが変わった
- 変更あったところ情報求めます。まとめます。
- 目次などは三井田くんにつけてもらいます。切り抜きなども
- Discordでやったものを、YouTubeで配信という形に変えようかと思っています。
- Discordしかやらないものあり。パッドとか。パッド、お金にならない...
- 質疑応答
  - Ableton12でやります？
  - ライブセット紹介